ドーン財団（一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団） ニュースレター

DAWN（ドーン）通信

第24号
2016. 7

Contents

★特集
平成28（2016）年度事業展開
■財団トピックス
■イコーラム情報
■新運営体制
平成27年度事業受託・講師派遣等実績一覧
賛助会収支決算

就任のごあいさつ

私は、この度、時岡禎一郎前理事長の後任として、理事長に就任致しました。ここに一言ごあいさつ申し上げます。

平成22年度から大阪府の補助金がカットされ、多くの人が財団の存続を危ぶまれたと思います。ですが、前理事長を先頭に、財団の役職員は、ここで財団をつぶしてはならないとの決意のもと、一丸となって、今日まで、荊の道を切り開いてきました。

今、財団を取り巻く環境は一層厳しくなっており、正直に申し上げて、将来は決して明るくありません。皆様のご支援、職員の超人的な努力による新規事業の開拓などにより、ここ数年は、幸運にも経営黒字を達成しました。ですが、財団の経営基盤はなお安定しておらず、綱渡りのような状態と言っても過言ではありません。

では、今や、財団の使命や存続する価値が無くなったのでしょうか。

国の平成24年度の世論調査等によれば、男女の地位の平等感を実感できない人がまだまだ多く、その後の地方自治体の同種調査をみても、その傾向が改善されているとはいえません。また、国際的な指標であるジェンダーギャップ指数による日本の順位は、世界の145カ国中101位で、先進国の中では最低です。いずれの調査も、日本の男女間格差が極めて大きいことを示しています。

ですので、財団の存在意義は無くなるどころか、益々必要とされています。

財団は、これからも、一人ひとりの自由と人権が守られ、性別にとらわれることなく個性が尊重され、人間らしい生活ができるような男女共同参画社会の実現へ向けて邁進していきます。どうか、皆様のご支援を賜りたくこの場をお借りしてお願い申し上げ、ごあいさつにかえさせて頂きます。

ドーン財団
（（一財）大阪府男女共同参画推進財団）
理事長　**段林和江**

ドーン財団

財団がドーンセンター（大阪府立男女共同参画・青少年センター）を拠点に活動してきたことにちなむ愛称。ドーンセンターとともに、ドーンと進んでいこう、という思いを込め、設立20周年を記念して平成26（2014）年度に決めました。ドーンセンターは、平成6（1994）年の開館時に大阪府の公募によって選ばれた愛称で、「夜明け」や「物事の始まり」を意味する英語DAWNと、大阪の女性たちの「ドーンと行こう」という心意気を表しています。

ただいま、情報発信中！

財団ホームページ
http://www.dawn-ogef.jp/

Twitter
https://twitter.com/O_G_E_F

特集 平成28（2016）年度ドーン財団

公益目的事業

◎男女共同参画に関する啓発事業
・男性向けセミナー

◎相談員育成事業
・フェミニストカウンセリング専門講座
・事例から学ぶ女性相談（スーパービジョン講座）
・女性相談に関わる事務局専門スタッフ養成講座

一般事業

自主事業

自主事業の中には助成金等によって運営されているものもあります。

◎国際交流事業
・第４回はなみずきツアー
「白井文と行くカリフォルニアの旅」

◎広報事業
・財団ホームページの管理・運営
・ニュースレター『DAWN通信』の発行
・財団報告書の作成
・賛助会制度運営
・視察受入れ
・はなみずきツアー「出石永楽館　大歌舞伎」（予定）

◎講師派遣・研修・実習受入事業
・講師派遣、大学の講義受託、委員等応嘱
・研修、実習、職場体験、インターンシップ等の受入れ
・民間企業等派遣研修受入れ　等

◎販売事業
・オリジナルDVD＆ビデオ、ハンドブック等の販売
・海外女性監督ドキュメンタリー作品の収集・加工・販売
・東北女性の手仕事物産展・物産品の販売

第二次中期経営プランを策定しました

平成28年度から平成30年度までの3年間に向けて「第二次中期経営プラン」を策定しました。運営のスローガンとして「すべての人が生きやすい男女共同参画社会づくりのために～地域に根差し、地域を超えて～」を掲げ、当面の事業実施戦略として、「困難な状況に置かれた女性の支援」と「働く女性のエンパワメント」の二つを重点に展開します。

「第二次中期経営プラン」など財団運営に関する詳しい内容は、財団ホームページの「財団基礎情報」でご覧になれます。
財団基礎情報：http://www.dawn-ogef.jp/foundation/idea.html

受託

大阪府受託事業

府民文化部男女参画・府民協働課

◎大阪府男女共同参画推進のための相談事業等業務
・女性相談
電話相談、面接相談、グループ相談、法律相談、インテーク業務
・男性相談
・カウンセラー派遣
・大阪府内市町村相談事業への支援
市町村ブロック会議の開催
市町村相談員を対象にした研修会、実践的なスキルアップ研修

健康医療部保健医療室地域保健課

◎不妊専門相談センター事業
・不妊・不育にまつわる電話相談
・不妊・不育にまつわる面接相談（予約制）
・不妊サポート・グループ　・セミナー開催
・専用ホームページ運営　等

東大阪市受託事業（指定管理）

平成23（2011）年度～平成30（2018）年度

◎イコーラム（東大阪市立男女共同参画センター）の管理運営
・施設設備の維持管理　・施設使用許可業務
・印刷サービス、視察対応等

◎イコーラム事業
・情報に関する事業　・学習に関する事業
・交流事業　・自主活動支援事業　・相談事業　・その他

◎財団自主事業
・男女共同参画基礎講座　・市民協働事業
・シニア男性料理講座　・キャリアカウンセリング等

国受託事業

◎内閣府「平成28年度　東日本大震災による女性の悩み・暴力相談事業」
・岩手県、宮城県、福島県における相談事業の実施
・東日本大震災被災地における行政機関相談機能回復研修

◎内閣府「平成28年度　女性に対する暴力被害者支援のための官官・官民連携促進ワークショップ事業」
・全国の配偶者暴力相談支援センター長や行政職員、相談員を対象にした研修（計５回）
・アドバイザー派遣　・事例検討会

◎内閣府「平成28年度　性犯罪被害者等のための総合支援モデル事業」
・性犯罪被害者等のためのワンストップ支援センター設置推進、モデル事業の実施および事業効果検証等

はこのような事業を展開します！

平成 28（2016）年 7 月現在

事業

地方自治体からの受託事業

◎三重県伊賀市男女共同参画事業
◎石川県 DV 専門相談員等育成研修

大学からの受託事業

◎近畿大学総合社会学部「キャリアサポートセミナー」
◎大阪女学院大学・短期大学「人権教育講座」他

はなみずき女性支援センター事業

はなみずき基金充当事業
＜「ACCJ（在日米国商工会議所）関西支部」助成＞

・ＤＶ・性暴力被害女性のための法律相談（全３回）
・シングルマザーのための「はなみずきセミナー」（全５回）＜ACCJ＞
・女性支援のための「グループファシリテーター養成講座」（全３回）＜ACCJ＞
・性暴力サバイバーのための「サポート・グループ」＜ACCJ＞
・シングルマザーのための「個別キャリアカウンセリング」＜ACCJ＞　等

＊事業内容・時期等は変更になる場合があります。

指定管理

ドーン財団を代表として 4 団体で構成する「ドーン運営共同体(※)」による事業

（※）ドーン財団（（一財）大阪府男女共同参画推進財団）、（一財）大阪府青少年活動財団
NPO 法人大阪現代舞台芸術協会、（株）菱サ・ビルウェア

大阪府府民文化部男女参画・府民協働課

◎ドーンセンター（大阪府立男女共同参画・青少年センター）指定管理業務

平成 28（2016）年度～平成 32（2020）年度
・会議室貸出　・施設管理　・グループ活動支援
・一時保育事業の運営　・視察対応
・ドーンセンターホームページの運営

・情報ライブラリーの運営
（男女共同参画に関する情報の収集及び提供）
・閲覧、貸出、館内視聴
・資料リスト作成、テーマ展示
・人材情報データベースの登録・更新
・情報相談
・情報ライブラリーカフェの設置

◎ドーン運営共同体自主事業

●ドーンセンターの利用促進
・メールマガジン「e-DAWN」の発行（月２回）
・舞台俳優による絵本の読み聞かせ
・自習のための会議室無料開放

●教育機関との連携
・インターンシップ・プログラムの実施
・図書館司書課程実習生受入れ

●情報ライブラリー機能の活用
・郵送貸出　・セット貸出
・クレオ大阪（大阪市立男女共同参画センター）相互貸出
・大阪府内公共図書館協力貸出

●男女共同参画推進事業
・ドーン財団との共催
・NPO との共催

次世代の育成に向けて

ドーン財団では、男女共同参画社会の実現に向けて活躍する次世代を育成することを目的として、職場体験や研修生、インターンシップ生の受け入れを実施してきました。数週間から半年間にわたる研修中は、財団が主催する事業および国や行政からの受託事業など多様な業務を担当します。財団の活動を通して学んだことは、研修後それぞれのフィールドで活かされ、結果的に財団の目指す社会の実現にもつながります。人材を育成することは、社会全体を変えていく力になると信じて、今後も取り組みを続けていきます。

平成28（2016）年4月から大阪府教育委員会民間企業等派遣研修として当財団にお越しの中澤さんよりメッセージをいただきました。

子どもたちが自分らしく、個性を大事にして、お互いの多様な価値観を認め合いながら成長するように教育（共育）するため、教職員は社会に対する広い視野を持つ必要があります。その中でも特に、男女が対等な立場であるという視点を持って教育活動を行っていくことが重要です。このことは財団の基本理念にも通じ、派遣研修はドーン財団にとっても、また教職員にとっても非常に意義のあるもので、まさに理想的な Win-Win の関係にあるといえるでしょう。そして、よりよい教育を受けた子どもたちが、男女共同参画社会を実現していく。そのことが大阪府民にとっても意義のあるものとなるはずです。

中澤　諒一（大阪府立高等学校教諭）

研修期間：2016 年 4 月 1 日～ 2016 年 9 月 30 日
大阪府受託（男性相談事業、男性向け啓発事業）、インターンシップ受け入れのほか、内閣府受託事業、共催事業等を担当。

事務所を移転しました

平成 28（2016）年 3 月 28 日、事務所をドーンセンター 3 階から大手前センタービル 12 階へ移転しました。新事務所は、ドーンセンターの北隣で、これまで通りの交通アクセスでお越しいただけます。電話とＦＡＸ番号、ホームページのアドレスも変わりません。

事務所の移転は、大阪府の補助金に頼らない財団自立化や一般財団法人への移行などに伴って経営環境が変化したことが理由です。新事務所を拠点に、ドーンセンターとイコーラム（東大阪市立男女共同参画センター）の指定管理業務をはじめ多様な事業に取り組んでまいります。

【新住所】
〒540-0008
大阪市中央区大手前 1-2-15 大手前センタービル12F
TEL 06-6910-8625 / FAX 06-6910-8624

財団のロゴマークができました

平成 28（2016）年 4 月にロゴマークを制作しました。

基本理念である「男女が対等な立場で、あらゆる分野へ参加、参画することができる社会の創造」と、運営目的である「社会的・経済的な男女格差の是正、女性のエンパワメントのための専門的で総合的な支援機能を果たすこと」をイメージし、愛称であるドーン財団の「D」をモチーフにしています。

制作にあたっては、男女共同参画社会の実現のために、しなやかでシャープに、そして包括的に下支えすることで寄与していきたいという私たちの思いを込めました。女性に対するあらゆる暴力の根絶を願って、国際的にも使用されているパープルリボンの色を使用しています。

ドーン財団

デザイン：八尋亜子（やひろあこ）

大切なのは「人権の視点」　～退任のごあいさつ～

理事長退任にあたって、山積みの本棚を整理したら、人口問題の本が 11 冊出てきました。人口学者や子ども学者の著書、パリ近郊に住むエッセイスト・中島さおりさんによる『なぜフランスでは子どもが増えるのか』（2010 年）などです。世界でも群を抜くスピードで進む日本の少子高齢化の要因は何なのかを学びたくて折々に買い求めてきたものです。

私は、平成 13（2001）年 4 月から 15 年間余にわたる財団での業務で、ＤＶや性暴力被害、貧困に苦しむ多くの女性たちの実情に触れ続けてきました。そのことが、男女平等と家族のあり方、女性の生き方、ひいては人口動態への関心につながったわけです。

警戒するべきは、女性を「産む」役割のみで捉え、子どもを「将来の労働力」と単純に位置づける考え方です。女性活躍をうんぬんする前に、人権の視点が大切であることを自分に言い聞かせています。長い間、ご指導、ご支援をありがとうございました。

前理事長　時岡 禎一郎
（平成 28（2016）年 6 月末退任）

ドーン財団は平成 23（2011）年度から東大阪市より事業を受託し、
東大阪市立男女共同参画センター・イコーラムの管理運営（2 期・3 年目）を担っています。

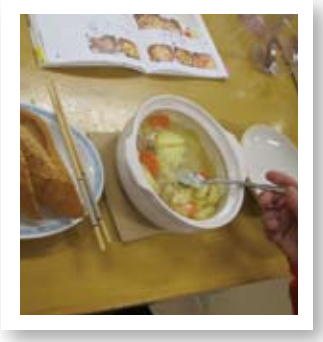
男性に向けた男女共同参画推進の支援

東大阪市立男女共同参画センター・イコーラムでは、女性に向けた事業はもちろんですが、東大阪市の施策に沿い「・・・・男性自身も「男らしさ」にとらわれず地域や家庭においても生き生きと活躍し、喜びを感じられる心豊かな生き方ができるよう・・」（第３次東大阪市男女共同参画推進計画より）男性に向けた事業を実施しています。

●シニア男性のための料理講座

平成 26・27 年度と 2 年にわたりシニア男性のための料理講座を財団自主事業として開催しました。定年後の円満な夫婦の秘訣は、男性の食の自立だと提唱される石蔵文信教授（大阪樟蔭女子大学）にご協力いただき、東大阪市域で男性の料理グループ結成をめざしてスタートしました。内容は一人用土鍋だけで簡単に作れる「ええ加減料理」です。ポイントは自分が食べる分だけを作り、片付けまで自分でやること。普段は料理をしない男性が集まり、「簡単でおいしく、料理が楽しい」と参加されていました。

その中で、講座の参加者から自主グループが立ち上がり、この度イコーラムの登録団体となりました。毎月ワイワイにぎやかに実習を行い、今後、もっと多くのシニア男性に料理の楽しさを広めていきたいと、積極的に活動されています。このように、男女共同参画を基盤に、イコーラムを拠点に活動するグループの支援を今後も引き続き行います。



●男性電話相談

平成 24（2012）年度より男性電話相談を月 2 回（第 1 土曜日午後・第 3 水曜日夜間）実施しています。年間 20 件前後で推移してきた相談件数が、4 年目となる平成 27（2015）年度は 50 件近くになりました。東大阪市の市政だよりや男性相談カード、チラシでの広報が少しずつ行き渡ってきたようです。男性が気軽に相談できる場が少ない中、30 ～ 40 代を中心にさまざまな内容の相談があります。今後も男性の生きづらさが軽減されるよう継続していく予定です。

新運営体制

●役員

評　議　員	上田 理恵子	株式会社マザーネット代表取締役社長
	熊 和子	元毎日放送ラジオ局長
	高田 昌代	神戸市看護大学教授
	時岡 禎一郎	学校法人大阪女学院監事
	早瀬 昇	特定非営利活動法人日本NPOセンター代表理事 社会福祉法人大阪ボランティア協会常務理事
	松尾 園子	弁護士
理　事　長	段林 和江	弁護士
業務執行理事	白井 文	グンゼ株式会社取締役
理　　事	伊田 久美子	大阪府立大学人間社会学研究科教授 女性学研究センター主任
	金光 哲司	一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団事務局長
	仁科 あゆ美	一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団本部長
	畑 律江	毎日新聞大阪本社学芸部専門編集委員
	焼野 嘉津人	大阪府キャンプ協会事務局長
監　　事	高瀬 久美子	弁護士
	林 紀美代	公認会計士

●アドバイザー

川中 大輔	シチズンシップ共育企画代表
黒瀬 友佳子	帝人株式会社CSR・信頼性保証部CSRグループ長
弘本 由香里	大阪ガス株式会社エネルギー・文化研究所特任研究員
ローラ・デールズ	西オーストラリア州立大学准教授

＊委嘱期間：平成28（2016）年4月～平成29（2017）年3月
（50音順、肩書は平成28（2016）年4月現在）

事業報告

ドーン財団の平成27年度事業受託・講師派遣等の実績は次のとおりでした。

（平成28〈2016〉年3月31日現在）

【受託事業①】
■大阪府（府民文化部）男女共同参画推進事業に関する業務（～27年度）／（健康医療部）不妊専門相談センター事業／（商工労働部）母子家庭の母等の特性に応じた職業訓練■東大阪市／東大阪市立男女共同参画センター指定管理事業（～30年度）■内閣府／東日本大震災による女性の悩み・暴力相談事業／女性に対する暴力被害者支援のための官官・官民連携促進ワークショップ事業／性犯罪被害者等のための総合支援モデル事業／性犯罪被害者等支援体制整備促進事業■経済産業省／平成26年度補正予算地域中小企業・小規模事業者人材確保等支援事業

【受託事業②】
■大阪府泉大津市／三重県伊賀市■大阪女学院大学・短期大学／近畿大学　他

【講師派遣等】
国立女性教育会館／総務省近畿管区行政評価局／四條畷市／和泉市／京都府男女共同参画センター／岸和田市人権協会／河南町／大東市人権協会／大阪府／東大阪市／泉大津市／吹田市立男女共同参画センター／同志社大学／近畿大学／滋賀県立大学／甲南女子大学／大阪府立四條畷高等学校／大阪府立枚方高等学校／大阪成蹊女子高等学校／交野市立第二中学校／大阪府立春日丘高等学校／一般社団法人大阪青年会議所／女性と子どものエンパワメント関西／はびきの市民大学／全国女性会館協議会／守口市ＰＴＡ会員と教職員の集い実行委員会　等

【委員応嘱等】
学校法人大阪女学院監事／全国女性会館協議会理事／おおさか市町村職員研修研究センター運営審議会委員／大阪府市町村振興協会評議員／大阪府立大学「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ事業」外部評価委員／公正採用人権啓発推進センター認証審査委員／大阪弁護士会人権賞選考委員／門真市社会教育委員／門真市男女共同参画審議会委員／門真市図書館協議会委員／交野市男女共同参画審議会委員／守口市男女共同参画審議会委員／四條畷市男女共同参画審議会委員／田尻町人権擁護審議会委員／国立女性教育会館「女性情報レファレンス事例集」サポートメンバー／国立国会図書館レファレンス協同データベース事業企画協力員／専門図書館協議会関西地区連絡会委員　等

【助成金を獲得した事業】
■在日米国商工会議所（ACCJ）関西支部／はなみずき塾「母と娘の関係を考える」、「自己表現ワークショップ」、シングルマザーのためのセミナー等の開催
■みずほ社会貢献ファンド（役職者募金）／シングルマザーの応援フェスタの開催

賛助会収支決算

昨年度の賛助会費は次のように使わせていただきました。

平成27年度　賛助会費収支計算書　H28.3.31

賛助会費		口数	収入額		
個人会員	1口3,000円　77人	124	372,000		
企業会員	1口10,000円　6企業	11	110,000		
非営利団体会員	1口5,000円　16団体	16	80,000		
合　　計		151	562,000		
充当事業		**回数**	**事業収入**	**支出額（人件費除く）**	**賛助会費個別充当額**
はなみずき支援センター事業 相談事業（ＤＶ・法律相談他）			0	562,000	
合　　計			0	562,000	0
総　合　計			562,000	562,000	
収支差引額				0	
次年度繰越金額					0

賛助会員募集中

賛助会員の皆さまには、当財団が実施している事業の案内をお届けするほか、当財団が指定する事業に会員割引で参加できるなどの特典があります。詳しくは、財団ホームページをご覧ください。
http://www.dawn-ogef.jp/support/index.html

財団理念

一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団（愛称：ドーン財団）は「男女が対等な立場で、あらゆる分野に参加・参画できる社会づくり」の視点から、多様な価値を受容し、一人ひとりが持てる力を最大限に発揮できる、真に豊かな社会の実現に貢献します。

財団に関する最新情報はホームページでご案内しています。
［ドーン財団］で検索。
→http://www.dawn-ogef.jp

ドーン財団　検索

ドーン財団

デザイン・レイアウト　メディアイランド
編集・発行　ドーン財団（一般財団法人　大阪府男女共同参画推進財団）
〒540-0008 大阪市中央区大手前1-2-15
大手前センタービル12F
TEL：06-6910-8615　FAX：06-6910-8624
http://www.dawn-ogef.jp
発行日：平成28（2016）年7月31日